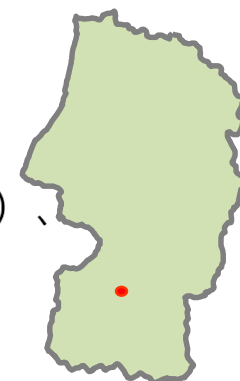


<施設概要>

- 施設管理者：水土里ネット野川（野川土地改良区）
- 施設名称：野川小水力発電所（山形県長井市寺泉地内）
- 発電設備：発電所建屋、軸流プロペラ水車（2台）、三相誘導発電機（2台）、発電制御盤、減勢バルブ、ほか
- 有効落差：7.195m
- 建設費：475百万円
- 運転開始時期：平成26年11月
- 発電出力：198kW（最大）（99kW×2台）
- 年間発電量：1,081MWh（約350世帯分）
- FIT売電単価：34円／kWh



施設全景

<取組の経緯・概要>

- 再生可能エネルギーの導入が推進される中で、長井ダムの完成（平成23年3月）と、固定価格買取制度（FIT）の開始を契機に、野川幹線用水路脇に再生可能エネルギーを安定的に発電できる小水力発電所を設置。
- 野川幹線用水路は、長井ダムを取水源とする新野川第一発電所（山形県企業局所管）の放流水を導水し、置賜野川沿いに広がる農地に農業用水を供給。
- 野川小水力発電所は野川幹線用水路から取水し、安定した水量と落差により、安定的に発電。
- 日常の稼働状況は土地改良事務所内の遠方監視装置で確認するとともに、水路を流れてくるゴミ（落葉、小枝等）の除去や設備のメンテナンスは定期的を実施。
- 土地改良区内から野川小水力発電所の愛称を募集し「のがわデンデン」と命名。
- 発電した電気は固定価格買取制度（FIT）により、全量売電。
- 売電収入は全て、土地改良区内の農業用水利施設の維持管理費軽減に活用し、農家負担の軽減に貢献。

小水力発電所の水源と発電までの流れ

置賜野川（一級河川・最上川水系）（水源）

長井ダム



取水

新野川第一発電所



放流水

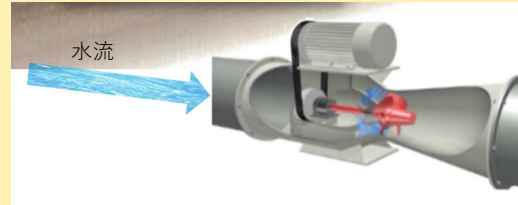
分土工

導水

野川幹線用水路

取水

発電水車のイメージ（野川小水力発電所）



軸流プロペラ水車

野川幹線用水路脇

野川小水力発電所（愛称：のがわデンデン）

（設置点：長井ダムから下流約2 Km（有効落差7.195m））



減勢バルブ室



制御盤（地上）



減勢バルブ（地下）

水流



発電所
（右奥は減勢バルブ室）



制御盤（地上）



軸流プロペラ水車・
三相誘導発電機（地下）

電気
（FIT
売電）

＜新電力＞
（株）パル
システム
電力